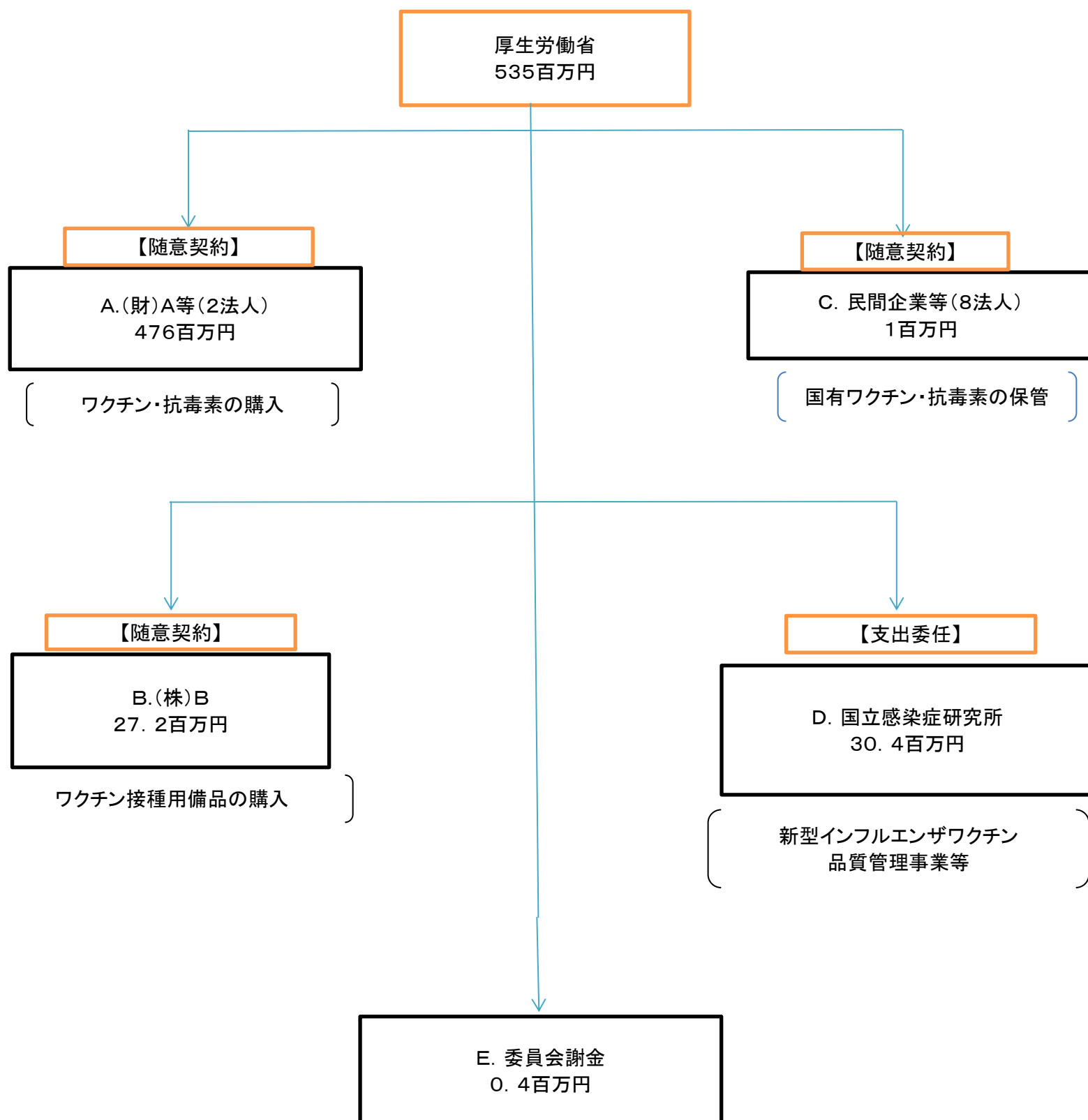


平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	ワクチン対策事業			担当部局庁	健康局			作成責任者	
事業開始年度	昭和24年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	結核感染症課			結核感染症課 井上 肇	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-5-1 感染症の発生・まん延の防止を図ること				
根拠法令(具体的な各項目も記載)	-			関係する計画、通知等	「国有ワクチンの供給について」昭和26年8月6日				
主要政策・施策				主要経費	社会保障、その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	保健衛生上必要不可欠なワクチン・抗毒素の国家買上げを行い、備蓄し、その需給調整を行う。また緊急時等のワクチン供給体制を確保する。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	保健衛生上必要不可欠なワクチン等の安定供給を確保するとともに、緊急時等の供給体制についても準備を進めるため、抗毒素やワクチン等の買上げ、ワクチンの開発・製造・安定供給のために必要な検討及び需要予測調査、並びに新型インフルエンザの予防に資するワクチンの開発や備蓄に取り組む事業。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額(単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	予算の状況	当初予算	722	537	543	538			
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	722	537	543	538	0		
	執行額	689	531	535					
執行率(%)	95%	99%	99%						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	国有ワクチン等の購入計画に対する実際の購入数量。 ※国有ワクチン等・・・乾燥ガスえそウマ抗毒素、乾燥E型ボツヌリスウマ抗毒素、乾燥ジフテリアウマ抗毒素、乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	本数	成果実績	本	187	187	167		
			目標値	本	187	187	167	337	
			達成度	%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	国有ワクチン等における都道府県からの購入申請に対する売り払い数量。 ※国有ワクチン等・・・乾燥ガスえそウマ抗毒素、乾燥E型ボツヌリスウマ抗毒素、乾燥ジフテリアウマ抗毒素、乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	活動実績	本	20	166	17			
		当初見込み	本	54	31	93	92		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	保健衛生上必要不可欠なワクチン等の安定供給を確保するとともに、緊急時等の供給体制についても準備を進めるため、抗毒素やワクチン等の買上げ、ワクチンの開発・製造・安定供給のために必要な検討及び需要予測調査、並びに新型インフルエンザの予防に資するワクチンの開発や備蓄に取り組む事業であるため単位当たりコストは算出できない。なお、記載している成果実績は、国が保管している国有ワクチンのうち、緊急治療のために払い出しを実施している一部のワクチンの供給実績であり、ワクチンの種類により価格が異なることから事業全体としてのコスト計算をすることは困難である。	単位当たりコスト	-	-	-	-	-		
		計算式	-	-	-	-	-		
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	ワクチン等購入費	451							
	医薬品買上費	48							
	医薬品審査等業務庁費	24							
	庁費	13							
	職員旅費	1							
	委員等旅費・諸謝金	1							
計	538	0							

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	感染症等は、発生の予測ができず、また、その抗毒素等については、製造に長期間を要する反面、有効期間が短いものが多いため、市場性に乏しい性質を有している。必要が生じた場合に、迅速・円滑に供給するために必要な事業であり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	感染症等は、発生の予測ができず、また、その抗毒素等については、製造に長期間を要する反面、有効期間が短いものが多いため、市場性に乏しい性質を有している。そのため、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	保健衛生上必要不可欠なワクチン等の安定供給を確保するとともに、緊急時等の供給体制についても準備を進めるための事業であり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		×	生産企業が限られていること、また危機管理の観点から特定の企業に依頼する必要があるため、随意契約とした。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	ワクチン・抗毒素等の買上げ・保管など、事業目的に則した適正な執行が行われている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	ワクチン・抗毒素等の買上げ・保管など適正な執行が行われている。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	国有ワクチン等の購入計画のとおり購入が行われている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	供給申請に対する払出は100%対応している。	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	購入した国有ワクチンは、供給申請に応じて払出している。	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名	-	
点検・改善結果	点検結果	緊急時に備え国が買上げを実施している国有ワクチン・抗毒素(乾燥ボツリヌスウマ抗毒素等)については、26年度においても都道府県からの供給申請に対し、迅速かつ円滑に供給(100%)しており、成果目標を達成している。			
	改善の方向性	都道府県へ適切に国有ワクチン等を供給できていることから、引き続き適正な執行を行いたいと考えている。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	228	平成23年度	205	平成24年度	172
平成25年度	112	平成26年度	122		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(財)A			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品	ワクチン・抗毒素の購入	428			
計		428	計		0
B.(株)B			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品	ワクチン接種用備品の購入	27.2			
計		27.2	計		0
C.(一財)C			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料及び損料	国有ワクチン・抗毒素の保管	0.2			
計		0.2	計		0
D.国立感染症研究所			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
支出委任	新型インフルエンザワクチン品質管理事業等	30.4			
計		30.4	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)A	ワクチンの購入	428	随意契約	—
2	(一財)化学及血清療法研究所	ワクチン・抗毒素の購入	48	随意契約	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)B	ワクチン接種用備品の購入	27.2	随意契約	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)C	国有ワクチン・抗毒素の保管	0.2	随意契約	—
2	(株)D	国有ワクチン・抗毒素の保管	0.1	随意契約	—
3	(株)E	国有ワクチン・抗毒素の保管	0.1	随意契約	—
4	(株)F	国有ワクチン・抗毒素の保管	0.1	随意契約	—
5	(一財)G	国有ワクチン・抗毒素の保管	0.1	随意契約	—
6	(株)H	国有ワクチン・抗毒素の保管	0.1	随意契約	—
7	(株)I	国有ワクチン・抗毒素の保管	0.1	随意契約	—
8	(株)J	国有ワクチン・抗毒素の保管	0.1	随意契約	—
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立感染研究所	新型インフルエンザワクチン品質管理事業等	13.4	—	—
2	国立感染研究所	ワクチン安定供給確保対策事業	10	—	—
3	国立感染研究所	ワクチン需要予測プログラム開発事業	7	—	—
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	委員A	謝金	0	—	—
2	委員B	謝金	0	—	—
3	委員C	謝金	0	—	—
4	委員D	謝金	0	—	—
5	委員E	謝金	0	—	—
6	委員F	謝金	0	—	—
7	委員G	謝金	0	—	—
8	委員H	謝金	0	—	—
9	委員I	謝金	0	—	—
10	委員J	謝金	0	—	—